

御中

試 験 成 績 書

年 月 日

工事名

品 名 加工砂



福 原 産 業 株 式 会 社



本 社 広島県東広島市黒瀬町国近604-2

TEL (0823) 82-8588 FAX (0823) 81-0368

E-mail info@fukuhara-gg.jp

<http://www.fukuhara-gg.jp>

試験室 広島県東広島市黒瀬町小多田142-1

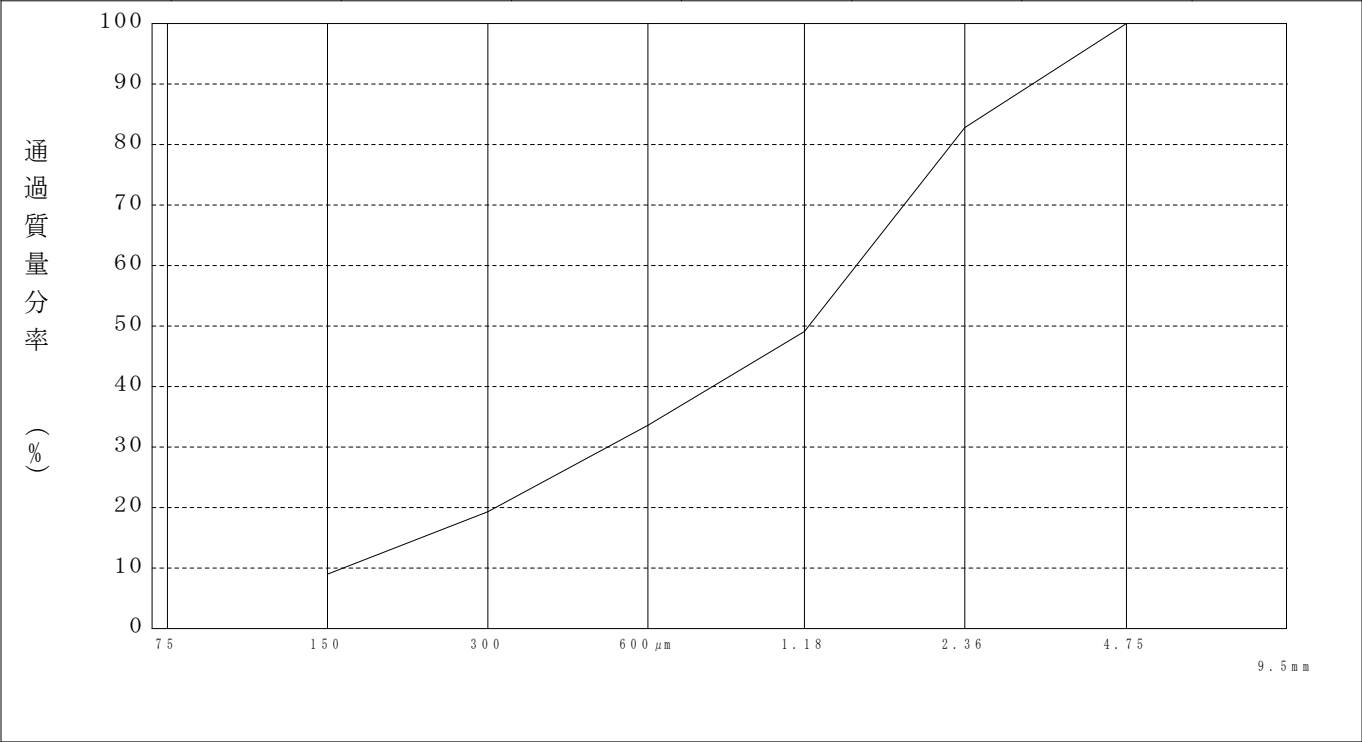
TEL (0823) 82-8588 FAX (0823) 82-8533

--	--	--	--

JIS A 1102	骨材ふるい分け試験	試験報告用紙
------------	-----------	--------

試料番号	試験年月日	2026年	4月	10日
調査名・目的	品質検査	使用場所・目的		
種類	加工砂	試験者	平賀 淳	

ふるい目の 呼び寸法	加積残留質量 + 容器質量 (g)	容 器 質 量 (g)	累 加 積 残 留 試 料 質 量 (g)	残留試料質量 (g)	残 留 率 (%)	加 積 残 留 率 (%)	通過質量 分 率 (%)
9.5mm							
4.75			0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2.36			96.9	96.9	17.2	17.2	82.8
1.18			286.8	189.9	33.7	50.9	49.1
600 μm			374.1	87.3	15.5	66.4	33.6
300			454.7	80.6	14.3	80.7	19.3
150			512.7	58.0	10.3	91.0	9.0
75							
受け皿			563.4	50.7	9.0	100.0	0.0
<粗粒率>	3.06						



--	--	--	--

J I S A 1 1 0 9		細骨材の密度および吸水率試験		試験報告用紙	
試 料 番 号 _____		試 験 年 月 日 2 0 2 6 年 4 月 1 3 日			
調 査 名 ・ 目 的 品質検査		使用場所・目的 _____			
種 類 加工砂		試 験 者 平 賀 淳			
試 験 時 の 水 温 _____ 2 0 . 0 ℃		フラスコの容積 (A) _____ 5 0 0 c c			
水 の 密 度 (B) _____ 0 . 9 9 8 2 g/cm ³					
測 定 番 号		1	2	3	4
フ ラ ス コ 番 号					
① (フラスコ+試料) 質量 (g)		6 8 0 . 2	6 8 2 . 4		
② フ ラ ス コ 質 量 (g)		1 7 4 . 5	1 7 4 . 5		
③ 試 料 質 量 (g) ①-②		5 0 5 . 7	5 0 7 . 9		
④ (フラスコ+試料+水) 質量 (g)		9 8 4 . 6	9 8 6 . 1		
⑤ 加 え た 水 の 質 量 (g) ④-①		3 0 4 . 4	3 0 3 . 7		
⑥ 表 乾 密 度 (g/cm ³) $\frac{③}{(A)-⑤} \times B$		2 . 5 8	2 . 5 8		
平 均 値		2 . 5 8			
⑦ 乾 燥 後 の 試 料 質 量 (g)		4 9 8 . 7	5 0 1 . 1		
⑧ 絶 乾 密 度 (g/cm ³) $\frac{⑦}{(A)-⑤} \times B$		2 . 5 5	2 . 5 5		
平 均 値		2 . 5 5			
⑨ 含 水 量 (g) ③-⑦		7 . 0	6 . 8		
⑩ 見 掛 密 度 (g/cm ³) $\frac{⑦}{(A)-⑤-⑨} \times B$		2 . 6 4	2 . 6 4		
平 均 値		2 . 6 4			
⑪備考 吸 水 率 (%) $\frac{⑨}{⑦} \times 100$		1 . 4 0	1 . 3 6		
平 均 値		1 . 3 8			

--	--	--	--

J I S A 1 1 2 2		骨 材 の 安 定 性 試 験				試 験 報 告 用 紙		
試 料 番 号 _____		試 験 年 月 日 2 0 2 6 年 4 月 1 3 日						
調 査 名 ・ 目 的 品質検査 _____		使 用 場 所 ・ 目 的 _____						
種 類 加工砂 _____		試 験 者 平 賀 淳						
試 料 採 取 場 所 東広島市黒瀬町小多田 _____		試 験 用 溶 液 の 密 度 1 . 1 6 0						
試 験 用 溶 液 の 種 類 N a 2 S O 4 _____		繰 返 し 回 数 5 回						
測 定 番 号	ふるいの呼び寸法で 区分した各群の粒径 の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤	⑥
	ふるい分け試験		試験前の各群 の試料質量 (g)		試験後の各群 の試料質量 (g)		各群の試料の 損失質量百分 率 (%)	各群別骨材の 損失質量百分 率 (%)
	通るふるい	留まる ふるい	残留質量 (g)	各群の質量百 分率 (%)			$(1 - \frac{④}{③}) \times 100$	$\frac{② \times ⑤}{100}$
1	9.5	4.75						
	4.75	2.36	395.1	24.9	430.8	429.1	0.4	0.1
	2.36	1.18	574.5	36.2	325.3	323.3	0.6	0.2
	1.18	600	465.0	29.3	348.0	347.0	0.3	0.1
	600	300	152.3	9.6				
	合 計		1586.9		骨材の損失質量百分率 Σ ⑥			0.4
2	9.5	4.75						
	4.75	2.36						
	2.36	1.18						
	1.18	600						
	600	300						
	合 計				骨材の損失質量百分率 Σ ⑥			
備 考 20mm より大きい粒径の骨材数 _____ 個								
試験後異常が認められた骨材数 _____ 個								
破壊状況								

--	--	--	--

JIS A 1104	骨材の単位容積質量試験および実積率試験		試験報告用紙
試料番号 _____ 試験年月日 2026年 4月 13日			
調査名・目的 品質検査		使用場所・目的 _____	
種類 加工砂		試験者 平賀 淳	
材料の詰め方 棒突き法			
測定番号	1	2	
① 容器の容積 (l)	2.020	2.020	
② 試料と容器の質量 (kg)	4.583	4.578	
③ 容器質量 (kg)	1.548	1.548	
④ 試料質量 ②－③ (kg)	3.035	3.030	
⑤ $\frac{\text{容器中の試料の質量}}{\text{容器の容積}}$	1.502	1.500	
⑥ 含水量測定のための 試料の乾燥前の質量 (g)	----	----	
⑦ 含水量測定のための 試料の乾燥後の質量 (g)	----	----	
⑧ 単位容積質量 $\text{⑤} \times \frac{\text{⑦}}{\text{⑥}}$ ⑤または	1.50	1.50	
⑨ 平均値	1.50		
⑩ 誤差	± 0.00	± 0.00	
⑪ 許容偏差 (平均値×0.5%)	0.01		
⑫ 絶対乾密度	2.55		
⑬ 実積率 ⑧/⑫×100 (%)	58.8	58.8	
⑭ 平均値 (%)	58.8		
考 察 ※試料は絶対乾状態のものを使用した。			

